



岩江中だより

第12号

発行日:平成26年 6月17日

発行:三春町立岩江中学校

電話:0247-62-8290

FAX:0247-62-8380

E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

【日曜日にありがとうございました。！ ～PTA奉仕活動実施～】

6月1日(日)はお休みのところ、かつ、朝から気温が高い中、多くの保護者のみなさんにPTA奉仕作業においでいただきありがとうございました。

1時間という作業時間の中で、校地内がみるみるきれいになりました。役員のみなさんにはプール清掃をしていただきましたが、こちらも、きれいに仕上がり、これからのプール指導につながります。きれいな環境づくりをありがとうございました。



【われら、かく戦えり！ ～田村支部中体連総合大会観戦記～】

6月4・5日には、田村地区各地を会場に、田村支部の中体連総合大会が開催されました。各部並びに岩江中学校に対するご声援、ありがとうございました。

わが校の選手たちの戦いぶりを応援しようと、田村各地の試合会場をめぐって応援して歩きました。私はバスケットボール競技の部長を仰せつかっておりましたので、船引町の田村市総合体育館でバスケットボールの開会式に参加し、わが校バスケットボール部の試合を応援後、大越の卓球、小野の野球とバレー、三春夕陽ヶ丘のソフトテニスと移動時間と距離のある中、岩江中選手の大奮闘に接することができました。

各会場を観戦して思ったことは、日頃の練習こそ試合に出るといこと、勝負の厳しさ、仲間の大切さです。県中大会出場に大きく影響するバレー部の滝根中との試合、ブロックに係ったボールをカバーに入った選手が拾って、ボールはネットを越えてそのまま相手のコートに。この場面どこかでみたなあと考え、学校の体育館でこれと同じ練習光景が展開されていました。自分たちのチームを分析し、実態を知り、それに応じた練習を積み重ね、それがそのまま試合に出ていたのです。試合を想定した緊迫感ある中、心は燃えて頭は冷静に。7回戦の中学校の野球、対都路中との戦いは、一人ひとりの選手の日ごろの努力が実を結んだ戦いでした。先攻のわが校、スコアボードには1回から6回まで「0」が並んでいました。7回表で得点は「0対1」、得点



が入らなければわが校の負け。そんな逆境を救ってくれたのが、いわゆる「下位打線」でした。選手・ベンチ・スタンドが選手を信じ、選手も、自分を、仲間を信じ、自分のやれることに精一杯に取り組む、未来はそんなところから開けてくるのかもしれない。うれしかったです。3年生にとっては2年2ヶ月、まさに、心血を注いだ取り組みであった部活動。大会後の学校での部活動に関するコメントの中には、「悔しい」という言葉がいくつか聞かれました。どんなにがんばっても、負ければ相手が強いことになります。勝負の世界は厳しいですね。しかし、その厳しさを味わえたことは、選手たちのこれからに大いに役立つ勉強だったと思います。勝利を信じて今できることに全力を注ぐ。選手みなさん、感動をありがとうございました。

県中大会出場のパレー部、決戦は明日18日(水)、その活躍を心より願います。がんばれ！

【食育講座開催！ ～よく噛んで食べましょう。～】

先日は、栄養士の松本先生を岩江小学校からお迎えし、食育講座を給食時に開催いたしました。今回は、頭文字「ひみこのはがい～ぜ」に沿って、よく噛んで食べることの効用を中心に伝えていただきました。その効用とは右の写真のとおりです。給食のメニューも、歯ごたえのあるものとなっています。3人の調理員さんもかわいいピンクのエプロンを身につけ、栄養士さんのたてた献立表に従って、子どもたちや先生方のために、おいしい給食を一生懸命つくってくださっています。いつもありがとうございます。



【梅雨の時期の事故防止！ ～雨の中の登下校、急な雷、脱水症等に注意します。～】



左の写真は、突然の大雨が屋根を伝い、その下の建物の屋根に落ちた瞬間です。大粒の雨は、王冠のようにしぶきを上げていました。

雨の登下校は、傘をさしたり送迎の車は見通しが悪くなったりします。気温の上昇は、急な大雨や雷を引き起こします。また、梅雨の時期は、いがいと脱水症に気をつけなければなりません。

学校では、交通安全のための街頭指導を実施したり、雷が鳴ったら、金属バットやカーボンラケット等への落雷防止のため外の部活動をすぐに校舎内に入れりしています。水分補給の指導もしていますが、事故防止に完璧はありません。学校内外で、自ら危険を予想し、回避できる力を身につけさせるために今後も指導してまいります。

【人権意識の啓発！ ～人権の花をいただきました。～】

先日、人権擁護委員のみなさんが学校にいらっしやり、人権の花の苗をくださいました。

花の苗は、子どもたちや用務員さんの手により、鉢やプランターに植え替えられ、子どもたちが登下校する音楽室前の通路におかれました。

花を見て人権に思いをはせる、そして、きれいな花と同じように、きれいで、たくましい心をもった子どもたちに成長してくれますようお願いしつつ指導してまいります。

